

初めての基準点測量（例題）解答編

この計算例題は、webに掲載した例題を手計算により計算したものです。
投影補正を行う際、楕円体高を用いず、標高をもって計算しております。

計算過程に必要な計算式は、不動産法律セミナーのバックナンバーを参照してください。
また、実際の観測においては、観測時の時刻、ダイヤル等が必要になりますので、注意してください。

- * $s/S: 0.999901$
- * ジオイド高は使用していない。
- * 3・4級基準点測量の場合に用いる距離補正計算書の代わりに観測記簿を用いて計算を行った。
- * 距離補正計算書は、web版の計算簿中にありますので、参考にしてください。